

(地Ⅲ77F)

平成29年7月7日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 菡 敏

蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症の予防啓発に関する協力依頼について

今般、厚生労働省において、蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症の予防啓発のためのポスター及びリーフレットが作成され、同省ホームページに掲載したことから、本会に対して別添の周知方依頼がありました。

同リーフレットにおいては、蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症を発症した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けることが重要であるとしており、ダニに咬まれた患者が受診された際は、ダニ媒介感染症を念頭に、ダニの処置を含め適切な対応を求めています。また、蚊媒介感染症を疑う患者を診察した際には、蚊媒介感染症の診療ガイドライン（第4版）を参考にして対応するよう求めています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会管下郡市区医師会、関係医療機関等に対する周知方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

ポスター：http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=459028&name=file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/web_pos_1.pdf

リーフレット：<http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=459030&name=file/06>



事 務 連 絡
平成 29 年 7 月 7 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症の予防啓発に関する協力依頼について

今般、厚生労働省健康局結核感染症課において、蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症の対策について国民に広く周知が図られるよう、お笑い芸人の“スギちゃん”を起用し、蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症の予防啓発のためのポスター（A2片面）及びリーフレット（A4両面）を作成しました。

リーフレット裏面に記載のとおり、蚊媒介感染症及びダニ媒介感染症については、蚊やダニに咬まれないための予防措置を講じると共に、もし発症した場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けることが重要であることを、周知しております。

つきましては、引き続き、ダニに咬まれた患者が受診された際は、ダニ媒介感染症を念頭に、ダニの処置を含め適切な対応をお願いします。なお、蚊媒介感染症を疑う患者を診察した際には、蚊媒介感染症の診療ガイドライン（第4版）を参考に適切な対応をお願いします。

貴会会員への周知につきまして、御配慮の程をお願いします。

ポスター：http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=459028&name=file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/web_pos_1.pdf

リーフレット：http://www.mhlw.go.jp/file.jsp?id=459030&name=file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/web_1.pdf

ワイルドなあなた、 蚊・ダニから狙われていますよ。

薄着だと
蚊やダニに
か
咬まれちゃうぜえ〜

おっちゃんおっちゃん

おっちゃん

ダニ・スギちゃん(杉山英司)

か
蚊・ダニに咬まれないようにしようぜえ〜

蚊やダニが媒介する感染症から身を守るためには、蚊やダニに咬まれないことが大切です。

屋外で活動する時は

- 肌の露出を少なくする(長袖・長ズボンなど)
- 虫除け剤を使用する

詳細はウラヘ

蚊媒介感染症

厚生労働省



ダニ媒介感染症

厚生労働省



ワイルドなあなた、 蚊・ダニから狙われていますよ。

薄着だと
蚊やダニに
咬まれちゃうぜえ〜

おいしそうやないか

おいしそうやないか

タレント・スギちゃん(杉山英司)

蚊・ダニに咬まれないようにしようぜえ〜

蚊やダニが媒介する感染症から身を守るためには、蚊やダニに咬まれないことが大切です。



蚊・ダニに咬まれないポイント



蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - ☞ 長袖・長ズボンを着用する
 - ☞ 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※ 野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。

※ 熱中症にも注意しましょう



蚊媒介感染症
厚生労働省



ダニ媒介感染症
厚生労働省



※ 各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。

蚊・ダニの活動が盛んになる春から秋にかけて、キャンプ、ハイキング、農作業などで注意しよう。

蚊・ダニに咬まれないために

感染症

蚊が媒介

日本脳炎、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱など

ダニが媒介

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ツツガムシ病、ライム病など

蚊・ダニに咬まれないポイント

蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボンを着用する
 - 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
- シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる

*野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。
特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。



※熱中症にも注意しましょう

蚊の発生を抑える

- 不要な水たまりをなくす
例：屋外に置かれた植木鉢の受け皿、放置された空き缶やペットボトル、野積みされた古タイヤなど
- 詰まった排水溝などを清掃する



ヒトスジシマカは、小さな水たまりを好んで産卵します。
日本に広く生息するヒトスジシマカはデング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱などを媒介します。

海外で蚊に刺されたとき

蚊に刺されて体調を崩した場合、医療機関を受診し、渡航歴と蚊に刺されたことを伝えましょう。

ダニに咬まれたとき

無理に引き抜こうとせず、皮膚科などの医療機関で処置(ダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。

ダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱などの症状が認められた場合は医療機関で受診しましょう。

【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動

